



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
 コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 寺田 健志
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 今村 徹 TEL 06-6110-1560
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	51,915	23.1	9,722	70.7	10,854	76.3	7,505	69.7
2022年3月期第2四半期	42,157	—	5,694	62.8	6,158	66.5	4,421	78.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 8,437百万円 (111.1%) 2022年3月期第2四半期 3,997百万円 (△0.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	314.73	—
2022年3月期第2四半期	189.55	170.28

(注) 前第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用したため、2022年3月期第2四半期の各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、売上高について対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	138,018	99,750	72.3
2022年3月期	129,159	83,896	64.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 99,722百万円 2022年3月期 83,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00
2023年3月期	—	45.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	11.3	15,700	26.6	16,900	25.8	11,700	23.9	501.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	26,732,017株	2022年3月期	26,732,017株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	797,552株	2022年3月期	3,399,626株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	23,846,330株	2022年3月期2Q	23,328,288株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、持ち直しの動きが続いております。今後も回復基調が続くものと期待されますが、供給面での制約や原燃料価格の高騰に加え、ウクライナ情勢の長期化や中国でのゼロコロナ政策による経済活動の停滞、急激な為替変動等の影響もあり、先行きは不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは、第7次中期経営計画「EMPOWER THE NEXT-22」の最終年度を迎え、「レジリエントな事業基盤の構築」、「マーケットイン型開発の推進」、「SDGsへの取り組み」および「企業文化・組織風土の改革」の4つの基本方針に基づき、全社一丸となって具体的な施策に取り組みました。

「レジリエントな事業基盤の構築」では、化学品事業、機能材事業、ヘルスケア事業の3つの事業をコア事業と位置づけ強靱化戦略を推進しています。当第2四半期連結累計期間においては、化学品事業では、さらなる原燃料価格上昇に対応した価格改定を実施するとともに生産効率改善のための更新投資・コストダウンに引き続き取り組みました。機能材事業では、前年度に生産体制を強化したアリルエーテル類の拡販をさらに推し進めました。ヘルスケア事業では、今期中の完成を目指して医薬品原薬・中間体および医薬品精製材料の設備投資を進めております。

「マーケットイン型開発の推進」では、NEDOのグリーンイノベーション基金事業として採択された全固体電池用超高イオン伝導性ポリマーの開発を進めております。

「SDGsへの取り組み」では、当社グループの取り組みを一層強化、推進するため、サステナビリティ委員会の設置を決定しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、519億1千5百万円と前年同期比23.1%の増加となりました。利益面におきましては、営業利益は97億2千2百万円と前年同期比70.7%の増加、経常利益は108億5千4百万円と前年同期比76.3%の増加、親会社株主に帰属する当期純利益は75億5百万円と前年同期比69.7%の増加となり、当第2四半期連結累計期間の各段階利益は過去最高を大幅に更新いたしました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

<基礎化学品>

クロール・アルカリは、かせいソーダを中心に需要が堅調に推移したことに加え、原燃料価格上昇にともなう価格改定を進めたことにより、売上高は増加しました。

エピクロルヒドリンは、原燃料価格上昇にともなう価格改定を進めたことに加え、為替の影響もあり、売上高は増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は219億8千8百万円と前年同期比25.3%の増加となりました。

<機能化学品>

合成ゴム関連では、エピクロルヒドリンゴムは、自動車用途向けは自動車生産台数の減少による影響を受けましたが、OA用途向けのシェア拡大により、売上高は増加しました。アクリルゴムは、国内をはじめアジアで新規採用が進んだため、売上高は増加しました。

ダップ樹脂は、欧州および中国での絶縁ワニス用途を中心に販売が増加したため、売上高は増加しました。

アリルエーテル類は、欧米で塗料および電子材料用途を中心とするシランカップリング剤向けの拡販が進んだことに加え、為替の影響もあり、売上高は増加しました。

医薬品精製材料は、欧米並びにアジア向けの糖尿病治療薬用途等の需要が拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、糖尿病の合併症治療薬中間体、不眠症治療薬中間体および骨粗鬆症治療薬原薬の販売が拡大したため、売上高は増加しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は264億2千6百万円と前年同期比21.2%の増加となりました。

<住宅設備ほか>

生活関連商品の販売が堅調に推移した結果、住宅設備ほかの売上高は35億円と前年同期比24.4%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、9.5%増加し899億3千9百万円となりました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が55億9千3百万円、現金及び預金が32億7千1百万円、それぞれ増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、2.3%増加し480億7千8百万円となりました。これは、主として投資有価証券が8億9千2百万円増加したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、6.9%増加し1,380億1千8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、17.5%減少し328億6千9百万円となりました。これは、主として1年内償還予定の新株予約権付社債が87億3千3百万円減少し、支払手形及び買掛金が18億1千7百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、0.3%減少し53億9千8百万円となりました。これは、主として退職給付に係る負債が6千7百万円、その他固定負債が3千9百万円それぞれ減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて、15.5%減少し382億6千7百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、18.9%増加し997億5千万円となりました。これは主として、自己株式が58億4千8百万円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、22億7千1百万円増加し、392億8千8百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フローは、59億2千2百万円の収入（前年同四半期は72億7千7百万円の収入）となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益が107億3千万円、減価償却費が18億4千万円、減少要因として売上債権及び契約資産の増加額が34億6千7百万円、法人税等の支払額が26億7千4百万円となったことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フローは、30億5百万円の支出（前年同四半期は23億2千2百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が21億3百万円であったことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フローは、13億3千9百万円の支出（前年同四半期は7億9千5百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額が10億4千9百万円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年8月5日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,517	19,789
受取手形、売掛金及び契約資産	26,920	32,514
電子記録債権	3,434	1,508
有価証券	20,499	19,499
商品及び製品	7,703	9,342
仕掛品	2,191	2,187
原材料及び貯蔵品	2,628	3,185
その他	2,326	1,915
貸倒引当金	△79	△2
流動資産合計	82,142	89,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,669	6,690
機械装置及び運搬具（純額）	11,605	11,648
土地	2,305	2,305
リース資産（純額）	674	665
建設仮勘定	1,861	2,109
その他（純額）	478	464
有形固定資産合計	23,594	23,883
無形固定資産		
のれん	315	245
ソフトウェア	155	111
その他	79	154
無形固定資産合計	550	510
投資その他の資産		
投資有価証券	21,677	22,570
繰延税金資産	450	413
長期貸付金	18	16
その他	732	788
貸倒引当金	△7	△104
投資その他の資産合計	22,871	23,684
固定資産合計	47,016	48,078
資産合計	129,159	138,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,229	16,047
短期借入金	7,172	7,172
未払法人税等	2,990	3,313
賞与引当金	968	914
1年内償還予定の新株予約権付社債	8,733	—
その他	5,756	5,422
流動負債合計	39,850	32,869
固定負債		
リース債務	908	893
繰延税金負債	1,349	1,457
退職給付に係る負債	2,733	2,666
資産除去債務	166	166
その他	254	214
固定負債合計	5,412	5,398
負債合計	45,263	38,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,871	15,871
資本剰余金	14,391	17,009
利益剰余金	54,255	60,710
自己株式	△7,658	△1,810
株主資本合計	76,859	91,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,833	6,802
繰延ヘッジ損益	64	334
為替換算調整勘定	212	884
退職給付に係る調整累計額	△97	△81
その他の包括利益累計額合計	7,012	7,940
非支配株主持分	23	28
純資産合計	83,896	99,750
負債純資産合計	129,159	138,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	42,157	51,915
売上原価	29,829	35,139
売上総利益	12,327	16,775
販売費及び一般管理費	6,633	7,053
営業利益	5,694	9,722
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	274	332
持分法による投資利益	25	7
為替差益	27	802
受取保険金	136	5
その他	58	111
営業外収益合計	528	1,265
営業外費用		
支払利息	46	47
棚卸資産廃棄損	—	70
その他	17	17
営業外費用合計	64	134
経常利益	6,158	10,854
特別利益		
投資有価証券売却益	304	—
特別利益合計	304	—
特別損失		
固定資産除却損	64	123
特別損失合計	64	123
税金等調整前四半期純利益	6,398	10,730
法人税、住民税及び事業税	2,105	3,178
法人税等調整額	△128	46
法人税等合計	1,976	3,225
四半期純利益	4,421	7,504
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,421	7,505

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	4,421	7,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△526	△30
繰延ヘッジ損益	△30	270
為替換算調整勘定	106	652
退職給付に係る調整額	13	16
持分法適用会社に対する持分相当額	12	23
その他の包括利益合計	△424	932
四半期包括利益	3,997	8,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,997	8,433
非支配株主に係る四半期包括利益	0	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,398	10,730
減価償却費	1,928	1,840
のれん償却額	91	69
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	19
賞与引当金の増減額(△は減少)	32	△54
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14	△67
受取利息及び受取配当金	△280	△338
支払利息	46	47
為替差損益(△は益)	△12	△249
固定資産除却損	64	123
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△304	—
持分法による投資損益(△は益)	△25	△7
受取保険金	△136	△5
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	575	△3,467
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,381	△2,176
仕入債務の増減額(△は減少)	992	1,581
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	142
その他	195	107
小計	8,198	8,294
利息及び配当金の受取額	280	344
利息の支払額	△46	△47
保険金の受取額	136	5
法人税等の支払額	△1,291	△2,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,277	5,922
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,977	△2,103
無形固定資産の取得による支出	△57	△85
投資有価証券の取得による支出	△456	△707
投資有価証券の売却による収入	331	—
その他	△162	△109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,322	△3,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権付社債の償還による支出	—	△41
自己株式の取得による支出	△1	△235
配当金の支払額	△758	△1,049
その他	△36	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△795	△1,339
現金及び現金同等物に係る換算差額	98	693
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,258	2,271
現金及び現金同等物の期首残高	31,936	37,016
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,194	39,288

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の権利行使に伴い、自己株式の処分を行っております。この結果、資本剰余金が2,614百万円増加し、自己株式が6,077百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
日本	14,862	10,359	2,796	28,018	—	28,018
アジア	1,893	8,004	15	9,913	—	9,913
欧州	341	2,690	—	3,031	—	3,031
その他地域	447	746	—	1,193	—	1,193
顧客との契約から 生じる収益	17,544	21,800	2,812	42,157	—	42,157
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,544	21,800	2,812	42,157	—	42,157
セグメント間の内 部売上高又は振替高	11	338	1,453	1,804	△1,804	—
計	17,555	22,139	4,266	43,961	△1,804	42,157
セグメント利益	1,930	4,226	99	6,256	△562	5,694

(注) 1 セグメント利益の調整額△562百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
日本	17,718	10,373	3,500	31,593	—	31,593
アジア	2,998	10,811	—	13,810	—	13,810
欧州	311	3,412	—	3,724	—	3,724
その他地域	958	1,828	—	2,787	—	2,787
顧客との契約から 生じる収益	21,988	26,426	3,500	51,915	—	51,915
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,988	26,426	3,500	51,915	—	51,915
セグメント間の内 部売上高又は振替高	107	474	708	1,290	△1,290	—
計	22,095	26,901	4,208	53,205	△1,290	51,915
セグメント利益	3,678	6,591	139	10,409	△686	9,722

(注) 1 セグメント利益の調整額△686百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。